

経済消防委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No. 1

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

点検評価項目	1 京都舞鶴港を活かした産業の振興
	(1) 多目的国際ターミナル・舞鶴国際ふ頭を核とした物流の拡大
	① 航路網の充実

具体的な取組内容
 京都舞鶴港の背後圏に立地する企業への集荷活動を強化し、新規貨物の開拓を図るとともに、新規航路の開設や既存定期航路の活性化を促進します。

数値目標	コンテナ年間取扱貨物量					
	基準数値	4,103TEU	H30年末 目標数値	15,000TEU	H28年 実績数値	11,493TEU
	特記事項	H29年見込み 13,000TEU				

平成28年度取組・進捗状況

- 京都舞鶴港の背後圏に位置する企業等へのポートセールス(年間約1,400社)
- 各種展示会への参加
 - ・大連日本商品展示会に出展(9月)
 - ・台湾大商談会における舞鶴市のPR(9月)
 - ・メッセナゴヤ2016に出展(10月)
- 国内外でのセミナー開催
 - ・京都舞鶴港ミニセミナー【宇治市】(5月)
 - ・京都舞鶴港セミナーin大連(2月)
 - ・京都舞鶴港ミニセミナー【亀岡市】(3月)
 - ・京都舞鶴港セミナーin広島(3月)

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

今後も一般社団法人京都舞鶴港振興会及び京都府と連携し、企業訪問や各種展示会、国内外のセミナーを開催していく。

担当課 みなと振興・国際交流課

経済消防委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	2
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

点検評価項目	1 京都舞鶴港を活かした産業の振興
	(1)多目的国際ターミナル・舞鶴国際ふ頭を核とした物流の拡大
	②港湾道路の整備促進

具体的な取組内容	港湾貨物輸送の効率化を図るため、港湾道路の整備促進に向け、国や府との連携を強化します。
----------	---

数値目標	—					
	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

【要望活動】
 港湾道路及び港湾施設の整備促進に向け、国や京都府に対し要望活動を実施
 【港湾道路整備】
 臨港道路和田下福井線について京都府港湾修築事業負担金50,000千円を支出

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

港湾施設等の拡充について、国や府に対し引き続き要望する。

担当課	みなと振興・国際交流課、国・府事業推進課
-----	----------------------

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

点検評価項目	1 京都舞鶴港を活かした産業の振興					
	(1)多目的国際ターミナル・舞鶴国際ふ頭を核とした物流の拡大					
	③プロモーション活動の強化					
具体的な取組内容	対岸諸国における物流調査の実施や現地での京都舞鶴港PRセミナーなどプロモーション活動を強化します。					
数値目標	基準数値	—	H30年度末目標数値	—	H28年度実績数値	—
	特記事項					
	—					

平成28年度取組・進捗状況

●物流調査事業

- ・韓国ソウル訪問事業(5月)
- ・韓国ソウル・浦項訪問事業(7月)
- ・中国綏芬河市訪問調査団派遣事業(8月)
- ・大連日本商品展覧会への出展(9月)
- ・環日本海拠点都市会議に参加(10月、韓国・東海市)
- ・ウラジオストク経済ミッション派遣事業(12月)
- ・ナホトカ市派遣事業(12月)
- ・韓国ソウル訪問事業(2月)
- ・大連市・上海市ポートセールス事業(2月)

●国内外でのセミナー開催

- ・京都舞鶴港ミニセミナー【宇治市】(5月)
- ・京都舞鶴港セミナーin大連(2月)
京都舞鶴港における中国との定期航路の更なる発展に向け、京都舞鶴港を活用した新たなビジネスチャンスの可能性や京都府及び舞鶴市の経済・産業環境等について紹介するとともに、2016年12月に締結された京都銀行と舞鶴市との地方創生に関する包括連携協定に基づく具体的な取組として、京都銀行大連事務所とも連携し、中国側の大連の物流業者や日本との輸出入があるメーカー、貿易商社等に対し京都舞鶴港の優位性をPRするため実施。
※参加者：物流業者、日本と貿易関係のある(又は関心のある)企業、商社、船社、京都銀行の取引企業、大連市政府の対外貿易、外事、港湾部門関係者など250名が参加
- ・京都舞鶴港ミニセミナー【亀岡市】(3月)
- ・京都舞鶴港セミナーin広島(3月)
京都舞鶴港において、内貿貨物の8割を占める舞鶴・小樽間フェリー航路については、国内最速フェリー船が就航し、その背後圏が関西圏はもとより中国・四国地域にまで拡大している現状の中、昨夏の台風被害等による物流への影響も懸念されることから、貨物と併せ旅客の利用要請を行い、本航路の一層の活性化を図るため実施。
※参加者：物流業者・旅行者関係など44名が参加

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

京都府や(一社)京都舞鶴港振興会と連携しながら、継続的なPRに努める。

担当課	みなと振興・国際交流課
-----	-------------

経済消防委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	4
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

点検 評価 項目	1 京都舞鶴港を活かした産業の振興					
	(2) 関西における日本海側の玄関口・京都舞鶴港を活用した人流の拡大					
	①クルーズ客船の寄港誘致					
具体的な 取組内容	クルーズ客船の寄港の誘致を進め、近隣・周辺地域からの集客はもとより、国内遠方や外国からの観光客を誘致することによって、物資調達、飲食、土産品購入等による地域経済の活性化と、客船の見学者増加による港の賑わいを創出します。また、港からまちなかへの回遊性を高め、おもてなしによる経済活動を促進します。					
数値目標	クルーズ客船の寄港回数					
	基準数値	1回	H30年末 目標数値	20回	H28年 実績数値	17回
	特記事項	H29年見込み 39回				

平成28年度取組・進捗状況

- (1) 各種協議会・商談会・セミナー等参加 年間28回参加
- (2) 船社・旅行会社等への誘致活動 年間21社33回訪問
- (3) キーパーソン招聘事業 年間6回実施
- (4) クルーズセミナー 年間3回開催
- (5) 客船船内見学会 年間5回開催

平成28年のクルーズ乗客数概算： 22,000人(うち外国人6,000人、日本人16,000人)

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

これまでの誘致活動を継続し、今後の配船及び旅程を決定する権限を持つキーパーソンとの関係を維持・緊密化することで新たな寄港増につなげるほか、舞鶴から乗船する旅客を獲得すべく、市内や府北部地域はもとより京阪神地域や中京圏も視野に入れたアウトバウンド事業を展開していく。

担当課	みなと振興・国際交流課、観光商業課
-----	-------------------

経済消防委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

	No.	5
第1編	まちづくり戦略	
第1章	まちの安定的成長戦略	
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長	

点検評価項目	1 京都舞鶴港を活かした産業の振興					
	(2) 関西における日本海側の玄関口・京都舞鶴港を活用した人流の拡大					
	② 京都舞鶴港発着クルーズの促進					
具体的な取組内容	京都舞鶴港を発着するクルーズ客船を増やす、起点港化を促進することにより、クルーズの魅力や京都舞鶴港のポテンシャルについて広く情報発信し、府民クルーズの実施、京阪神や近隣・周辺地域からの誘客を推し進め、交流人口の増加を図ります。					
数値目標	発着クルーズ回数(フェリークルーズを含む)					
	基準数値	3回	H30年末 目標数値	6回	H28年 実績数値	15回
	特記事項	H29年見込み 34回				

平成28年度取組・進捗状況

- (1) 4月14日 ロストラル(到着) 大阪発～舞鶴着 9日間
- (2) 4月14日 ロストラル(出発) 舞鶴発～大阪着 9日間
- (3) 4月30日 ロストラル(到着) 大阪発～舞鶴着 9日間
- (4) 4月30日 ロストラル(出発) ル・オーストラル号で航く GWチャータークルーズ 6日間
- (5) 7月28日 ぱしふいっくびいなす(出発) 夏休み 隠岐・輪島クルーズ 4日間
- (6) 7月26日 コスタビクトリア(発着) 古都と城下町を巡る 「麗しの日本海と釜山5泊6日クルーズ」
- (7) 7月31日 コスタビクトリア(発着) 古都と城下町を巡る 「麗しの日本海と釜山5泊6日クルーズ」
- (8) 8月5日 コスタビクトリア(発着) 古都と城下町を巡る 「麗しの日本海と釜山5泊6日クルーズ」
- (9) 8月10日 コスタビクトリア(発着) 古都と城下町を巡る 「麗しの日本海と釜山5泊6日クルーズ」
- (10) 8月15日 コスタビクトリア(発着) 古都と城下町を巡る 「麗しの日本海と釜山5泊6日クルーズ」
- (11) 8月20日 コスタビクトリア(発着) 古都と城下町を巡る 「麗しの日本海と釜山5泊6日クルーズ」
- (12) 8月25日 コスタビクトリア(発着) 古都と城下町を巡る 「麗しの日本海と釜山5泊6日クルーズ」
- (13) 8月30日 コスタビクトリア(発着) 古都と城下町を巡る 「麗しの日本海と釜山5泊6日クルーズ」
- (14) 9月4日 コスタビクトリア(発着) 古都と城下町を巡る 「麗しの日本海と釜山5泊6日クルーズ」
- (15) 9月9日 コスタビクトリア(発着) 古都と城下町を巡る 「麗しの日本海と釜山5泊6日クルーズ」

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

既存のクルーズルートは今後も維持してもらえるよう船社に呼びかけるほか、これまでの発着クルーズにおける成果をアピールすることで、新たに舞鶴を拠点とするクルーズが催行されるよう、PRに努める。また、京阪神地域や中京圏におけるクルーズ乗船客を発掘し(アウトバウンド)、京都舞鶴港のニーズを高めるほか、クルーズのチャーター主の獲得も狙う。

担当課	みなと振興・国際交流課、観光商業課
-----	-------------------

経済消防委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	6
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

点検 評価 項目	1 京都舞鶴港を活かした産業の振興
	(2) 関西における日本海側の玄関口・京都舞鶴港を活用した人流の拡大
	③国際フェリー航路の開設

具体的な 取組内容	京都舞鶴港と東アジア諸国を結ぶ国際フェリー航路を開設し、物流だけでなく、人流の増加を図ります。
--------------	---

数値目標	—					
	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

・日韓露国際フェリー(DBS)が週1回運航。現在は貨物サービスのみの取扱いのため、早期の旅客サービス開始に向けた取組を実施。

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

フェリー会社との協議を粘り強く継続し、集荷活動を進めていく。

担当課	みなと振興・国際交流課
-----	-------------

No.	7
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

点検評価項目	1 京都舞鶴港を活かした産業の振興					
	(2)関西における日本海側の玄関口・京都舞鶴港を活用した人流の拡大					
	④東アジア圏との経済交流の促進					
具体的な取組内容	姉妹友好都市であるナホトカ、大連との長年培われてきた信頼関係と地理的優位性を活かし、東アジア圏との経済交流を図ります。 ジェトロをはじめとする国等の関係機関や商工会議所、金融機関等と連携し、市内企業の海外ビジネス展開を支援します。					
数値目標	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

- ・大連市代表団派遣事業(2月)
- ・韓国ソウル訪問事業(5月)
- ・大連市対外友好協会訪問団が来鶴(5月)
- ・台北市で開催された日本観光物産博へ出展(6月)
- ・中国国貿促大連市分会訪問団が来鶴(6月)
- ・韓国・束草市訪問団が来鶴(7月)
- ・韓国ソウル・浦項訪問事業(7月)
- ・中国綏芬河市訪問調査団派遣事業(8月)
- ・大連市現代博物館訪問団が来鶴(9月)
- ・大連日本商品展覧会に出展(9月)
- ・台湾大商談会における舞鶴市のPRの実施(9月)
- ・環日本海拠点都市会議に参加(10月、韓国・東海市)
- ・ナホトカ市訪問団が来鶴(10月)
- ・韓国・東海市訪問団が来鶴(11月)
- ・中国国貿促大連市分会訪問団が来鶴(12月)
- ・ウラジオストク経済ミッション派遣事業(12月)
- ・ナホトカ市派遣事業(12月)
- ・韓国ソウル訪問事業(2月)
- ・京都舞鶴港セミナーin大連(2月)
- ・大連市・上海市ポートセールス事業(2月)
- ・韓国・浦項市訪問団が来鶴(2月)

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

京都府や(一社)京都舞鶴港振興会のほか、2015年1月に開設されたジェトロ京都とも連携しながら、継続的なPRに努める。

担当課	みなと振興・国際交流課、企業立地・雇用促進課、観光商業課
-----	------------------------------

経済消防委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	8
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

点検 評価 項目	1 京都舞鶴港を活かした産業の振興
	(3)港の賑わいの創出
	①港湾用地等の利用促進

具体的な 取組内容	港湾地区における低未利用地及び施設の利用促進を図ります。 プレジャーボートの係留場所の確保や放置艇に対する規制強化を進めます。
--------------	--

数値目標	—					
	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

【プレジャーボート対策】
平成28年度プレジャーボート等に係るワーキング会議(12月)
第12回京都府プレジャーボート等係留対策協議会(2月)

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

・港湾管理者である京都府と連携し、低未利用地及び施設の利用促進について継続的に協議を進めるほか、船舶の放置等を禁止する区域(与保呂川河口、祖母谷川、志楽川河口等)の検討及び指定についても併せて取り組んでいく。

担当課	みなと振興・国際交流課
-----	-------------

経済消防委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	9
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

点検 評価 項目	1 京都舞鶴港を活かした産業の振興
	(3) 港の賑わいの創出
	② ふ頭機能の見直し

具体的な 取組内容	舞鶴国際ふ頭の供用開始に伴い、京都舞鶴港全体のふ頭機能の見直しを図り、臨港地区の規制緩和等に取り組みます。
--------------	---

数値目標	—					
	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

・臨港地区及び同分区の区域見直しについて京都府と調整会議を実施(12)

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

京都府とともに今後も必要に応じて規制緩和やふ頭機能の見直しに取り組む。

担当課	みなと振興・国際交流課
-----	-------------

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

点検評価項目	1 京都舞鶴港を活かした産業の振興					
	(4)国際拠点港湾の実現					
	①日本海側拠点機能の充実					
具体的な取組内容	日本海側拠点港選定を受けた「国際海上コンテナ」、「国際フェリー・国際RORO船」、「外航クルーズ(背後観光地クルーズ)」の3つの機能における計画の実現に取り組み、京都舞鶴港が東アジア諸国と関西経済圏を結ぶゲートウェイとして、また、災害時における関西の海上輸送を支援する拠点としての役割を一層果たせるようその機能充実を図ります。					
数値目標	基準数値	—	H30年度末目標数値	—	H28年度実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

【1】国際海上コンテナ

- ・「京都舞鶴港セミナーin大連」を開催(2月)。京都銀行大連事務所と連携し、中国側の大連の物流業者や日本との輸出入があるメーカー、貿易商社等に対し京都舞鶴港の優位性をPR。
- ・「京都舞鶴港セミナーin広島」を開催(3月)。国内フェリー貨物と旅客の利用要請に合わせ、京都舞鶴港の海外航路をPR。
- ・「京都舞鶴港ミニセミナー」を開催。5月に宇治市、3月に亀岡市で開催。

【2】国際フェリー・RORO

- ・日韓露国際フェリー(DBS)が週1回運航。現在は貨物サービスのための取扱いのため、早期の旅客サービス開始に向けた取組を実施。

【3】外航クルーズ(背後観光地クルーズ)

- ・平成28年のクルーズ乗客数概算: 22,000人(うち外国人6,000人、日本人16,000人)
- (1)各種協議会・商談会・セミナー等参加 年間28回参加
- (2)船社・旅行会社等への誘致活動 年間21社33回訪問
- (3)キーパーソン招聘事業 年間6回実施
- (4)クルーズセミナー 年間3回開催
- (5)客船船内見学会 年間5回開催

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

京都府とともに今後も必要に応じて規制緩和やふ頭機能の見直しに取り組む。

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

点検評価項目	3 農林水産業振興による経済規模の拡大					
	(2) 農水産物の付加価値を高めブランド化を図る新たな取組					
	③地元産農産物の加工及び販路の拡大					
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴産農産物を使用した加工品の開発及び販売を支援します。 ・舞鶴産農産物のブランド化やブランド力の向上を図り、首都圏や海外も含めて販路の拡大に取り組みます。 					
数値目標	—					
	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

- ◇舞鶴産のお茶PR事業 104千円
 - ・全国茶品評会かぶせ茶の部で4年連続日本一を獲得している舞鶴産のお茶の普及啓発として、ノベルティーの製作やクルーズ客船寄港時の乗船客へのお茶の振る舞い等を様々な機会に実施
- ◇舞鶴「食」のブランド力向上事業
 - ・「舞鶴食材 東京レストランジャック！2016」の開催
東京のトップレストラン10店舗で舞鶴の旬の食材を用いたメニューを6月の1ヶ月間同時に提供
提供食材…丹後とり貝、育成岩がき、万願寺甘とう、舞鶴茶、日本酒ほか
 - ・「舞鶴プレミアムランチフェア」の開催
東京トップシェフと雑誌編集記者18名を招待し、旬の舞鶴食材の賞味会を開催
 - ・シェフマッチングの開催
東京トップシェフと食材の商談会を計18店舗で実施
 - ・パブリシティ事業による情報発信
 - ・東京の食通の人気雑誌に掲載
- ◇万願寺甘とう振興事業
 - ・京のブランド産品である「万願寺甘とう」の消費拡大を目指し、首都圏を中心に情報発信を市内外を問わずPR活動を生産者・JA・行政が連携して実施し、生産と消費の両面から支援を行い、万願寺甘とうの認知度アップと農家の所得向上を目指し、パイプハウスの園芸施設等の設置を支援
京野菜生産加速化事業事業費補助金 24,871千円
万願寺甘とう消費拡大事業 264千円
- ◇佐波賀だいこん等伝統野菜ブランド化推進事業費 361千円
 - ・京の伝統野菜である「佐波賀だいこん」や「舞鶴かぶ」の認知度を上げるため、首都圏での商談会イオンリテールと提携した「京の伝統野菜 佐波賀だいこん食文化振興研究会」や京のふるさと産品協会の協力の下、販促活動や種子確保等を支援
- ◇6次産業化推進

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

- ◇5年連続日本一を獲得した舞鶴産のお茶の普及啓発を継続する。
- ◇お茶の商品開発や舞鶴産のお茶を積極的に購入し消費拡大に協力する事業所に対しての支援を検討する。

担当課	農林課
-----	-----

経済消防委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	12
-----	----

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

項目	3 農林水産業振興による経済規模の拡大					
	(2) 農水産物の付加価値を高めブランド化を図る新たな取組					
事業	⑥ブランド農水産物の販売拡大及び新たなブランド品づくりへの支援					
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴の農家がこだわりを持って作った農産物を「ふるさと舞鶴あぐりブランド推奨品」として認定し、販売の拡大を図ります。 ・優れた品質が保証され、安心・安全と環境に配慮した生産方法に取り組んでいる農水産物等に認定される「京のブランド産品」への舞鶴の農水産物の認定と販売拡大を支援します。 ・飲食店、スーパー、宿泊業者等と漁業者、水産加工業者との連携を図るため、情報交換の機会創出やイベント、PRの実施を促進します。 					
数値目標	ふるさと舞鶴アグリブランド推奨品の数(累計) 京のブランド産品認定件数(累計)					
	基準数値	29品 3品	H30年度末 目標数値	40品 6品	H28年度 実績数値	25品 3品
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

- ◇「とびっきりやね。これ！舞鶴産」普及拡大事業 77千円
 - ・農家がこだわりを持って作った農産物を「舞鶴あぐりブランド」として推奨し、あらゆる機会に優先的にPRし、また、生産者・JA・行政が協力し、市内の小中学校への食育の一環として、万願寺甘とうや佐波賀だいこんの出前授業を実施
- ◇サントリーとの連携事業
 - ・京都府や滋賀県の飲食店等を対象にホテルグランビア京都で開催されたサントリー商品と府内食材のコラボ企画に参加し、流通業者と連携して農産物は「佐波賀だいこん」「舞鶴かぶ」「万願寺甘とう」、水産物は「京鱈」「アカモク」をPR
 - ・舞鶴の農水産物を使った料理とのコラボ企画をサントリーが提携している市内飲食店で展開
- ◇築地市場PR試食会(JA、京のふるさと産品協会と連携)
 - ・青果仲卸業者に対して、佐波賀だいこん・舞鶴かぶメニューの振る舞いを実施
- ◇佐波賀だいこん等伝統野菜ブランド化推進事業費 361千円
 - ・京の伝統野菜である「佐波賀だいこん」や「舞鶴かぶ」の認知度を上げるため、首都圏での商談会
 - ・イオンリテールと提携した「京の伝統野菜 佐波賀だいこん食文化振興研究会」や京のふるさと産品協会の協力の下、販促活動や種子確保等を支援
- ◇ブランド水産物の生産拡大・販路開拓事業 2,817千円
 - ・舞鶴湾において「丹後の海育成岩がき」などの二枚貝の種苗を安定供給するために中間育成装置実証試験の実施
 - ・丹後とり貝の販路拡大を図るため、新たな販路として徳島中央卸売市場、更なる販売拡大のため京都、東京、横浜、岡山の4つの中央卸売市場での丹後とり貝試食会等によるPR実施
- ◇「舞鶴のさかな提供店制度」による飲食店、スーパー、宿泊業者と漁業者、水産加工業者との連携 880千円
 - ・飲食店、スーパーなどの「舞鶴のさかな提供店」(29店舗)と市内宿泊施設(8施設)が連携し、水産物のPRや市内消費・宿泊による地域経済の拡大

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

- ◇関係者と連携した取り組みを今後も実施し、販路拡大と生産量の拡大に取り組む
- ◇「丹後の海育成岩がき」などの二枚貝の種苗を安定供給するための中間育成装置導入に係る支援
- ◇丹後とり貝や丹後の海育成岩がきなどの食と引揚記念館、赤れんがパークなどの観光資源、宿泊を組み合わせた旅行商品の造成

担当課	農林課・水産課
-----	---------

経済消防委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	13
-----	----

第1編	まちづくり戦略
第1章	まちの安定的成長戦略
第1節	働く場の創出と地域経済の安定的成長

項目	3 農林水産業振興による経済規模の拡大					
	(8) 農山漁村ビジネスの振興					
事業	① 農山漁村ビジネスの振興					
具体的な取組内容	農山漁村の経済的自立のため、農漁家民宿の開業や加工品の開発、農山漁村体験事業の実施など、農山漁村ビジネスの取組を支援します。					
数値目標	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

- ◇6次産業化推進事業費 4,140千円
 - ・6次産業化アドバイザー及び支援パートナー配置
 - 1次産業の高付加価値化・ブランド化を推進するため、アドバイザー及びパートナーによる相談会を実施
 - ・セミナー開催(海と畑の新商品フェア、舞鶴の食と農をつなぐ交流会)
 - ・食品加工業者施設等整備支援(生鮮野菜の無菌加工設備の新規導入)
- ◇漁業者による蒸し牡蠣や牡蠣フライ、アワビなどを提供する施設に係る支援(佐波賀地区)
 - ・施設建設に係る融資や給排水施設整備に関する相談・アドバイス
 - ・施設オープンに係るアドバイス

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

- ・アドバイザー・パートナーの相談会を継続実施
- ・特産品頒布会事業により販路の拡大を支援
- ・舞鶴かきグルメキャンペーン等でのPRの推進

担当課	農林課 水産課
-----	---------

経済消防委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	14
-----	----

第1編	まちづくり戦略
第2章	みんなで支え合う地域づくり戦略
第2節	地域のつながりと地域力の向上

点検 評価 項目	2 市民が主体となった誰もが参画できる地域づくり				
	(4)市民防災力の強化・向上				
	②住宅用防災機器等の普及啓発				

具体的な 取組内容	住宅火災による焼死者発生防止や拡大防止のために有効な、住宅用火災警報器、消火器及び防災物品等の普及啓発に努めます。				
--------------	---	--	--	--	--

数値目標	—					
	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

住宅用防災機器の普及に対する取組
 1 防火訪問の実施
 火災による死者を防止するため、舞鶴市民生児童委員連盟との協働事業として、在宅高齢者単身世帯等の防火訪問を行うとともに、一般家庭に対する防火訪問を行い、住宅用防災機器等の普及啓発及び住宅防火対策の推進を図った。併せて、各種イベントの際や広報まいづる、FMまいづる、消防ホームページ等各種広報媒体を活用し、住宅防火対策や住宅用火災警報器の普及啓発についての広報活動を実施。

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

今後も引き続き、住宅用防災機器の普及啓発及び住宅防火対策の推進により一層努め、市民防災力の強化・向上を図る。

担当課	消防本部予防課
-----	---------

経済消防委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	15
-----	----

第1編	まちづくり戦略
第2章	みんなで支え合う地域づくり戦略
第2節	地域のつながりと地域力の向上

点検評価項目	2 市民が主体となった誰もが参画できる地域づくり					
	(4)市民防災力の強化・向上					
	③初期消火体制の確立					

具体的な取組内容	身近な地域における消火栓器具格納庫等を整備するとともに、自治会や自主防災組織等の防災訓練等を通じて、地域における初期消火体制の確立を図ります。					
----------	---	--	--	--	--	--

数値目標	—					
	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・各地域における消火栓器具格納庫等整備に伴う補助(平成28年度 14自治会 36基分) ・自治会や自主防災組織等が実施する防災訓練に職員を派遣し初期消火訓練の指導を実施。 平成28年度「消火器取扱指導」(22回)						

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について						
今後も事業を継続して行い、自治会や自主防災組織等の防災訓練等を通じて、地域における初期消火体制の確立を図る。						

担当課	消防本部予防課・消防本部総務課
-----	-----------------

第1編	まちづくり戦略
第2章	みんなで支え合う地域づくり戦略
第2節	地域のつながりと地域力の向上

点検評価項目	2 市民が主体となった誰もが参画できる地域づくり					
	(4)市民防災力の強化・向上					
	④応急手当の普及啓発					
具体的な取組内容	救急車が現場に着くまでに適切な応急手当を行う市民と、救急隊、医療機関とが連携して救命率の向上が図られるよう、救命講習等を通じて普及啓発に努めます。					
数値目標	基準数値	—	H30年度末目標数値	—	H28年度実績数値	—
	特記事項					
	平成28年度取組・進捗状況					
<p>1 普通救命講習(3時間) 講習回数 36回、受講者数 405名</p> <p>2 上級救命講習(8時間) 講習回数 1回、受講者数 29名</p> <p>3 救急講習(プッシュプロジェクト) 講習回数 66回、受講者数 3,293名</p> <p>4 AED設置施設の情報収集等 平成29年度にAED設置施設をホームページにて公開予定</p>						
<p>これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について</p> <p>市民に対し各種応急手当普及講習を実施しバイスタンダーの養成に努めるとともに、救急隊と医療機関の連携による救命率の更なる向上に取り組む。</p> <p>AEDについて、市民へ情報提供により更なる使用促進を図るため、AED設置情報を収集し、平成29年度中のホームページでの公開を目指す。</p>						

担当課	消防本部救急救助課
-----	-----------